

ワイヤレスマイク プレストーク型 WM-1420

このたびは、TOA ワイヤレスマイク プレストーク型をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

| | |
|------------------|---|
| 安全上のご注意 | 2 |
| 概要 | 3 |
| 特長 | 3 |
| 使用上のご注意 | 3 |
| 各部の名称とはたらき | 4 |

基本的な使いかた

| | |
|-----------------------------|----|
| 電池の入れかた | 5 |
| 充電式として使用するとき | 6 |
| 乾電池を使用するとき | 7 |
| グループ番号とチャンネル番号の設定のしかた | 8 |
| 操作のしかた | 10 |
| 上手な使いかた | 10 |

便利な機能

| | |
|--------------------------|----|
| A/B 切換スイッチの機能と使いかた | 11 |
| トークスイッチ動作の設定のしかた | 12 |
| チャイム音有無の設定のしかた | 12 |
| マイク感度の設定のしかた | 13 |
| 送信出力の設定のしかた | 14 |
| 外部マイクを使用するとき | 14 |
| トーン切換スイッチ | 16 |
| 誤操作防止シールの使いかた | 17 |
| 胸ポケット用クリップの使いかた | 18 |

| | |
|------------------|----|
| 故障かな？と思ったら | 19 |
| 仕様 | 20 |
| 付属品 | 20 |
| 別売品 | 20 |

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

充電は専用の充電器で行う

指定以外の充電器を使用すると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲汚損の原因となります。



強制

医療機器の近くで使用しない

電磁波で医療機器に影響を与えることがあります。
本機の電源を必ず切ってください。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れてたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+)と(-)に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

専用充電電池以外は充電しない

指定以外の充電電池を入れて充電しないでください。

電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。



禁止



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください

本機にはニッケル水素電池が使用できます。

ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みの電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

概要

単一指向性コンデンサーマイクユニットを使用した、多機能なプレストーク型のワイヤレスマイクです。

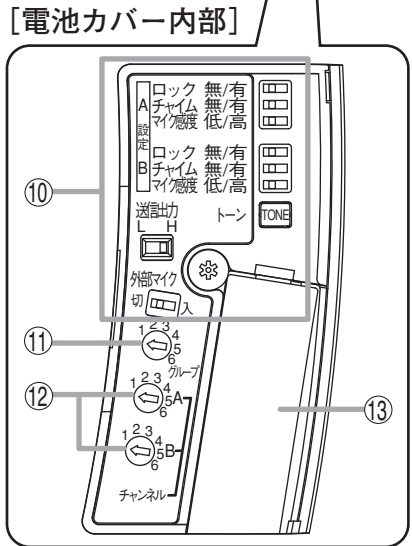
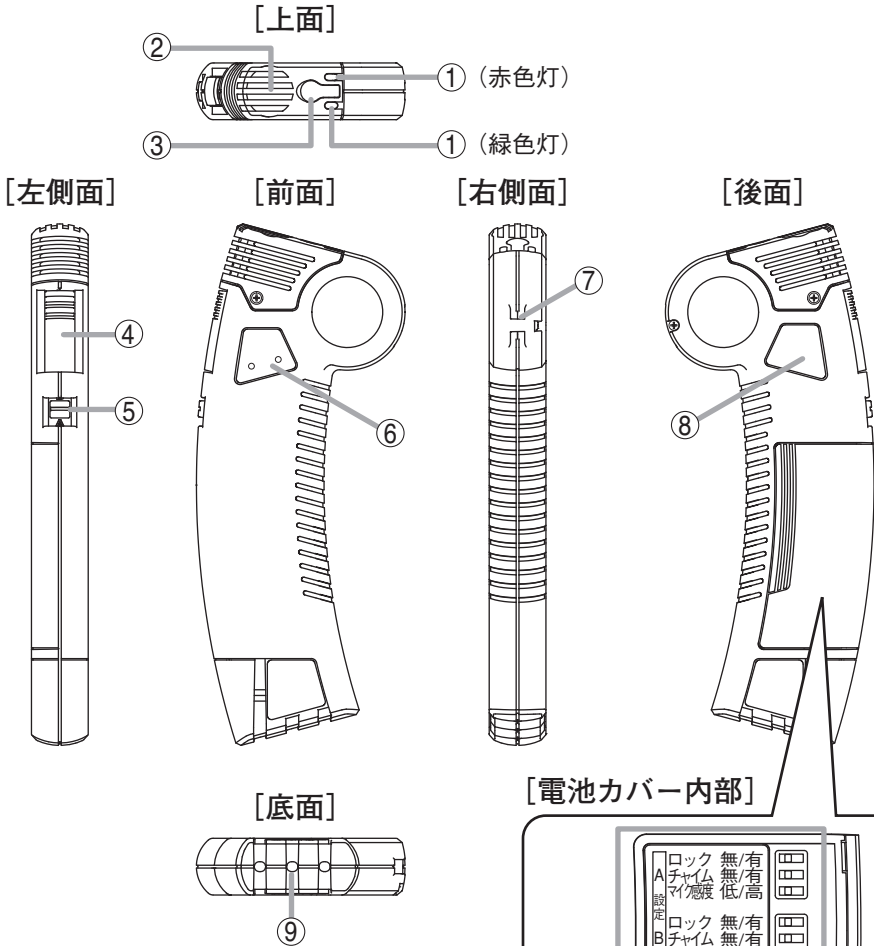
特長

- 800 MHz 帯 PLL シンセサイザー方式を採用しており、B型に割り当てられた30波の中から任意の1波を選択し、送信することができます。
- 送信出力の切り換えが可能で、多チャンネルの同時使用から広いエリアでの使用まで、幅広い使用条件に対応しています。
- 別売の専用充電器・専用充電電池と組み合わせて充電式として使用できるほか、単3形乾電池でも使用できます。
- トークスイッチのロック機能およびマイク感度切り換え機能により、ハンズフリーマイクとしても使用できます。
- 注意喚起やマイクの動作確認に便利なチャイム音を鳴らすことができます。
- 送信チャンネルと各機能の組み合わせを設定し、用途に合わせて切り換えて使用することができます。
- 外部マイク入力を備えており、外部マイクのスイッチにより本体のON/OFF操作をすることもできます。
- 手になじむ湾曲形状と指かけ用リング形状により落下しにくいデザインにするとともに、内部の衝撃吸収素材により落下衝撃に強い構造となっています。
- 抗菌処理を施しています。
- 内蔵アンテナを採用しています。

使用上のご注意

- このワイヤレスマイクは電波法に規定される技術基準適合証明品です。機器にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。傷つけたり、はがしたりしないでください。
- 分解や改造は法律で禁じられています。
- 床に落としたり、硬い物に当たったりしないでください。故障の原因となります。
- 夏の閉めきった車内のような温度の高い所や、湿度の高い所に置かないでください。故障の原因となります。
- 汗や海水のかかる所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 汚れたときは、乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で軽くふいてから、からぶきしてください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- ワイヤレスマイクを使用している近くで携帯電話を使用しないでください。ノイズが入ることがあります。
- 本体底面の充電端子は時々乾いた綿棒などでクリーニングしてください。端子が汚れると接触不良が発生し、正常に充電できないことがあります。

各部の名称とはたらき



1. バッテリーチェッカー

マイクをONにすると、電池が消耗していないときは、緑色灯が点灯します。電池が消耗してくると、赤色灯が点灯し始めます。

グループ・チャンネル番号が正しく設定されていないときは、緑色灯と赤色灯が交互に点灯します。

2. マイク部

3. 外部マイク端子

φ 3.5 ミニジャックです。(P. 14)

使用するときはカバーを外してください。

4. トークスイッチ

このスイッチでマイクの ON/OFF 操作をします。スイッチを押したまま話してください。動作の設定を変更することもできます。(P. 12)

5. A/B 切換スイッチ

チャンネルと機能設定の異なる組み合わせを「A」モードまたは「B」モードに設定し、どちらかを選択して使用できます。通常は「A」でお使いください。(P. 11)

6. カラーマーク貼付部、胸ポケット用クリップ取付部

付属のカラーマークを貼り付けることにより、ワイヤレスマイクのグループを識別することができます。

胸ポケット用クリップを取り付けたときは、クリップに貼ってください。(P. 18)

7. ストラップ取付部

付属のストラップを取り付けます。

8. チャンネルシール貼付部

付属のチャンネルシールを貼り付けることにより、ワイヤレスマイクのチャンネルを識別することができます。

9. 充電端子

10. 各種機能設定スイッチ

トークスイッチ動作、チャイム音有無、マイク感度などの設定ができます。(P. 11～17)

11. グループ設定スイッチ (P. 8)

12. チャンネル設定スイッチ (P. 8)

13. 電池収納部

基本的な使いかた

お買い上げ時の状態（右表参照）で、電池を入れ、グループ番号とチャンネル番号を設定すれば、お使いいただけます。

| 機能 | お買い上げ時の設定 |
|------------------|-----------|
| A/B 切換スイッチ | A |
| トークスイッチ動作（ロック）選択 | 無 |
| チャイム音有無選択 | 無 |
| マイク感度選択 | 低 |

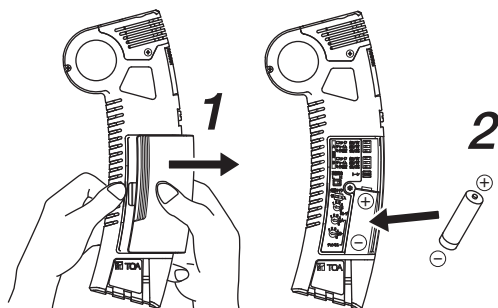
電池の入れかた

1 電池カバーを押しながら、矢印の方向にすべらせて外す。

2 電池収納部の（+）と（-）の表示に合わせて、専用充電電池*または単3形乾電池を1本入れる。

*専用充電電池については、P.6「充電式として使用するとき」をご覧ください。

3 電池カバーを元どおりに取り付ける。



充電式として使用するとき

⚠ 注意

専用の充電電池以外の電池を入れて充電しないでください。
指定以外の電池を充電すると、破裂により火災・けがの原因となることがあります。

ご注意

- 充電式として使用するときは、別売のプレストーク型ワイヤレスマイク用充電器 BC-1420 が必要です。(BC-1420 には専用充電電池 WB-2000 が 2 本付属しています。)
- 本機に使用できる専用充電電池は、BC-1420 付属の WB-2000、別売の WB-2000-2 (WB-2000、2 本入り) および WB-1000A-2 (WB-1000A、2 本入り) です。
他の充電電池は使用できません。

■ 充電のしかた

- 1 専用充電電池 1 本をワイヤレスマイクに入れる。
- 2 ワイヤレスマイクが OFF になっていることを確認する。
- 3 図のように、ワイヤレスマイクを充電器 BC-1420 のワイヤレスマイク差し込み口にしっかりと差し込む。

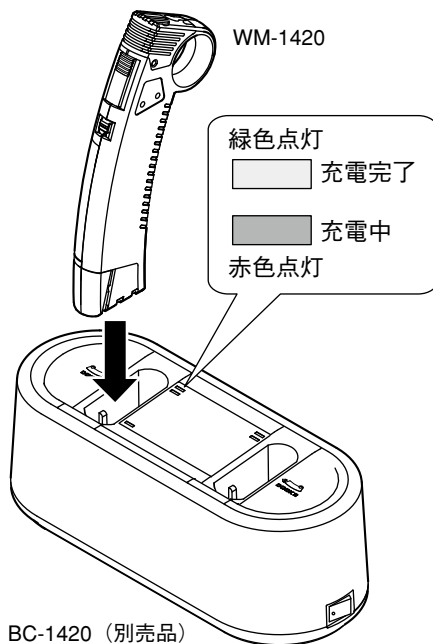
BC-1420 の充電中表示灯 (赤色) が点灯し、充電が開始されます。

充電が完了すると、BC-1420 の充電完了表示灯 (緑色) が点灯します。

| 使用電池 | 満充電時間 |
|----------|--------|
| WB-2000 | 約 2 時間 |
| WB-1000A | 約 1 時間 |

ご注意

- 満充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめてください。
- ワイヤレスマイクは必ず図に示す向きに差し込んでください。
逆方向には差し込まないでください。ワイヤレスマイクまたは充電器が破損する恐れがあります。
- 充電完了後はマイク本体が温かくなりますが、異常ではありません。
- ワイヤレスマイクを取り出すときは、充電器本体が動かないよう手で押さえてください。

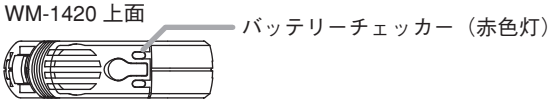


※ 詳しくは、BC-1420 の取扱説明書をお読みください。

■ 充電の時期

放電が進むと、バッテリーチェッカーの赤色灯が点灯し始めます。使用中に赤色灯が明るく点灯したら、充電を行ってください。

※ 使用時間の目安  P. 20 「電池寿命」



■ ご注意

- 充電電池を初めて使用するときやワイヤレスマイクを長期間使用していないときは、使用する前に必ず充電を行ってください。
- 充電しても使用時間が極端に短くなったときに電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。

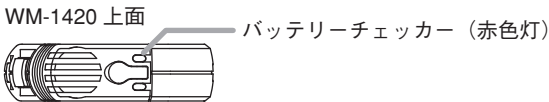
[交換の目安]

| 使用電池 | 充放電回数 |
|----------|----------|
| WB-2000 | 約 500 回 |
| WB-1000A | 約 2000 回 |

乾電池を使用するとき

単 3 形マンガン乾電池（R6PU）または単 3 形アルカリ乾電池（LR6）が使用できます。電池が消耗してくると、バッテリーチェッカーの赤色灯が点灯し始めます。使用中に赤色灯が明るく点灯したら、新しい電池と交換してください。

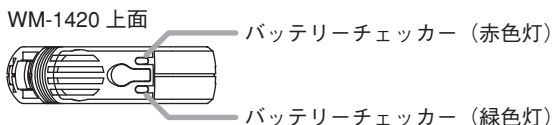
※ 使用時間の目安  P. 20 「電池寿命」



グループ番号とチャンネル番号の設定のしかた

ご注意

- マイクがOFFの状態を設定してください。
電源を入れたままで設定を変更しても、送信周波数は切り換わりません。
- 次ページの「周波数表」を参照して設定してください。
「周波数表」にないグループ、チャンネルに設定しても送信できません。誤った設定や、
確実な設定がされていない（番号と番号の間など）ときは、バッテリーチェッカーの緑色
灯と赤色灯が交互に点灯して異常を知らせます。もう一度、確認して設定し直してください。

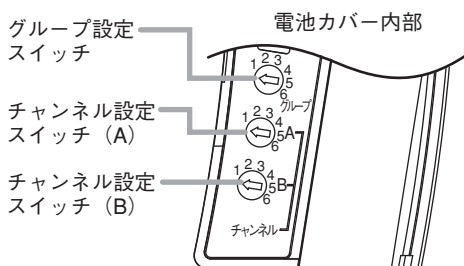


1 電源がOFFであることを確認し、電池カバーを外す。(P. 5)

2 付属の設定用ドライバーで、グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号に合わせる。

3 付属の設定用ドライバーで、チャンネル設定スイッチ (A) (B) の矢印を設定したいチャンネル番号に合わせる。

※ A/B 切換スイッチの機能 (P. 11) を使用しないときは (A) と (B) を同じチャンネルに設定しておきます。



(お買い上げ時の設定：すべて1)

4 電池カバーを元どおりに取り付ける。

[800 MHz 帯ワイヤレスマイクのチャンネル呼称]

- 例 **B 1 3** (a)…… 800 MHz帯を表す
 (b)…… グループ番号を表す
 (c)…… グループ内のチャンネル番号を表す

[周波数表] (下記以外の組み合わせでは使用できません。)

| スイッチ の設定 | 最大同時使用波数 | | | | | | | | | 周波数 (MHz) |
|-------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|----|-----|--------------|
| | 6波 | | | | | | 15波 | | 30波 | |
| | 使用グループ | | | | | | 使用グループ | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 奇数 | 偶数 | | | |
| 11 | B11 | | | | | | 1 | | 1 | 806.125 |
| 21 | | B21 | | | | | | 2 | 2 | 806.250 |
| 12 | B12 | | | | | | 3 | | 3 | 806.375 |
| 22 | | B22 | | | | | | 4 | 4 | 806.500 |
| 31 | | | B31 | | | | 5 | | 5 | 806.625 |
| 41 | | | | B41 | | | | 6 | 6 | 806.750 |
| 32 | | | B32 | | | | 7 | | 7 | 806.875 |
| 23 | | B23 | | | | | | 8 | 8 | 807.000 |
| 13 | B13 | | | | | | 9 | | 9 | 807.125 |
| 61 | | | | | | B61 | | 10 | 10 | 807.250 |
| 33 | | | B33 | | | | 11 | | 11 | 807.375 |
| 42 | | | | B42 | | | | 12 | 12 | 807.500 |
| 51 | | | | | B51 | | 13 | | 13 | 807.625 |
| 14 | B14 | | | | | | | 14 | 14 | 807.750 |
| 24 | | B24 | | | | | 15 | | 15 | 807.875 |
| 43 | | | | B43 | | | | 16 | 16 | 808.000 |
| 52 | | | | | B52 | | 17 | | 17 | 808.125 |
| 34 | | | B34 | | | | | 18 | 18 | 808.250 |
| 53 | | | | | B53 | | 19 | | 19 | 808.375 |
| 25 | | B25 | | | | | | 20 | 20 | 808.500 |
| 35 | | | B35 | | | | 21 | | 21 | 808.625 |
| 54 | | | | | B54 | | | 22 | 22 | 808.750 |
| 26 | | B26 | | | | | 23 | | 23 | 808.875 |
| 15 | B15 | | | | | | | 24 | 24 | 809.000 |
| 44 | | | | B44 | | | 25 | | 25 | 809.125 |
| 36 | | | B36 | | | | | 26 | 26 | 809.250 |
| 45 | | | | B45 | | | 27 | | 27 | 809.375 |
| 16 | B16 | | | | | | | 28 | 28 | 809.500 |
| 55 | | | | | B55 | | 29 | | 29 | 809.625 |
| 46 | | | | B46 | | | | 30 | 30 | 809.750 |

- ※ スイッチの設定の項目にある2桁の数字は、左がグループ番号、右がチャンネル番号を表します。
 ※ お買い上げ時には、B11に設定されています。

- 同時に使用する周波数が6波までの場合、使用するグループを1～6から選び、同一グループの中から最大6波を選びます。
- 同時に使用する周波数が7～15波の場合、使用するグループを偶数か奇数かを選び、そのグループの中から最大15波を選びます。
- 同時に使用する周波数が16～30波の場合、すべての中から最大30波を選びます。

ご注意

- グループ1～4は6チャンネルまで、グループ5は5チャンネルまで、グループ6は1チャンネルのみの設定となります。
- ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは必ず同じグループ、チャンネルに設定してください。設定が異なると受信しません。

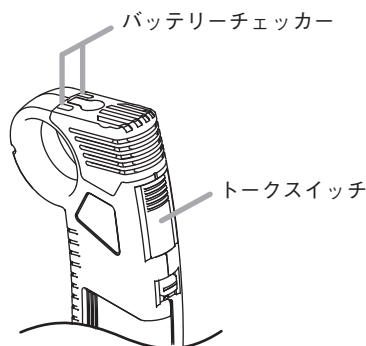
操作のしかた

1 ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーのグループおよびチャンネルが同じ番号に設定されていることを確認する。

2 トークスイッチを操作*して、マイクをONにする。

バッテリーチェッカーの緑色灯と赤色灯が一瞬点灯した後、電池残量に応じた点灯に変わり、マイクがONになります。

3 使い終わったら、トークスイッチを操作*してマイクをOFFにする。



* トークスイッチ動作の設定 (P. 12) が「ロック無」(お買い上げ時の設定) のときは、トークスイッチを押している間のみON、離すとOFFになります。「ロック有」のときは、一回押すとON、もう一回押すとOFFになります。

上手な使いかた

● マイクと口の向き

右図の位置にマイク部が内蔵されています。

マイク部を口もとに向けて使用すると、より大きな音量が得られ、ハウリングしにくくなります。

● マイクと口もとの距離

マイク感度の設定により異なります。詳しくは「マイク感度設定のしかた」(P. 13) をお読みください。

● ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの距離

ワイヤレスマイクを2本以上使用するときは、ワイヤレスマイク間の距離を50 cm以上離して使用してください。

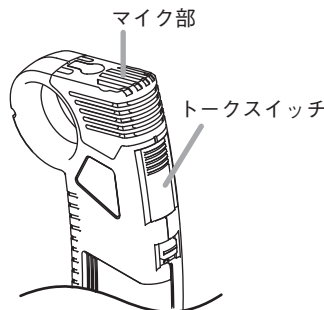
近づけすぎると、混信したり、音が途切れたりすることがあります。

● ワイヤレスマイクと受信アンテナの距離

ワイヤレスマイクと受信アンテナの距離は、3 m以上(送信出力「L」設定時は2 m以上)*離して使用してください。

距離が近すぎると、混信したり、誤動作したりすることがあります。やむをえず近づけて使用する場合は、ワイヤレスチューナーのアンテナアッテネーターを入れることをお勧めします。

* アンテナの設置場所や同軸ケーブルの長さにより異なります。



便利な機能

電池カバー内部のスイッチ、付属品、別売品などを使用すると、いろいろと便利な使いかたができます。

ご注意

電池カバー内部のスイッチを設定するときは、マイクがOFFの状態で行ってください。P. 5を参照して電池カバーを外し、付属の設定用ドライバーまたは先の細いドライバーなどを使って設定してください。

A/B 切換スイッチの機能と使いかた

WM-1420 は、チャンネルと機能設定の異なる組み合わせを「A」モードまたは「B」モードとして設定でき、A/Bモードを切り換えることで、1本のマイクで2通りの使いかたをすることができます。

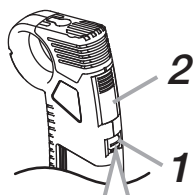
「A」モード、「B」モードそれぞれに以下の設定ができます。

- チャンネル番号 (P. 8)
- トークスイッチ動作選択 (P. 12)
- チャイム音有無選択 (P. 12)
- マイク感度選択 (P. 13)

※ 上記以外の設定はA、B共通です。

[操作のしかた]

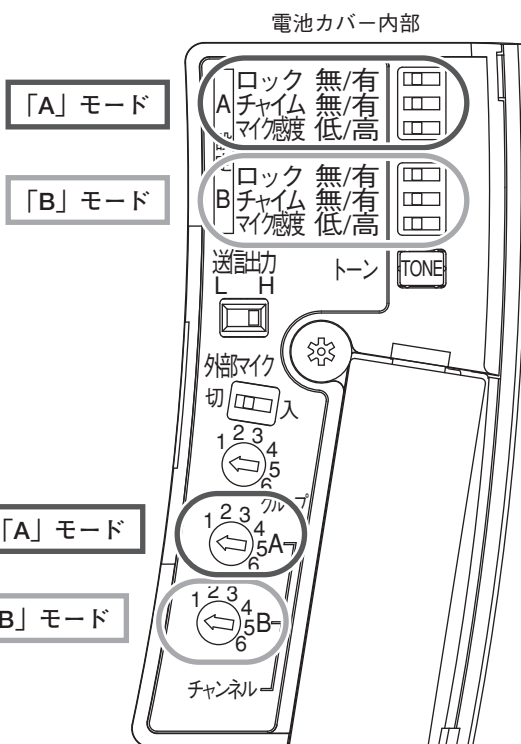
- 1 A/B 切換スイッチをスライドさせて、「A」または「B」のどちらか1つを選択する。
- 2 トークスイッチを操作して、マイクをONにする。(P. 10)



A/B 切換スイッチ

「A」に設定するとき ↑ 「B」に設定するとき ↓

(お買い上げ時の設定：A)



ご注意

- A/Bモードの切り換え操作は、マイクがOFFの状態で行ってください。マイクがONのときに操作しても、モードは切り換わりません。
- 1通りの使いかたしかない場合は、誤操作に備えて、「A」モードと「B」モードの設定を同じにしておくことをお勧めします。

トークスイッチ動作の設定のしかた

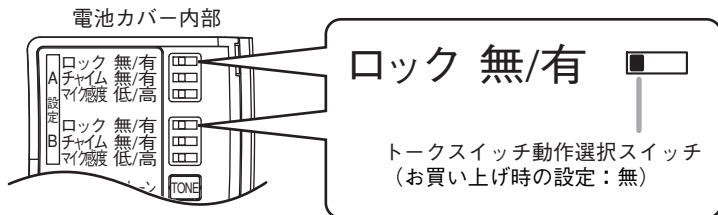
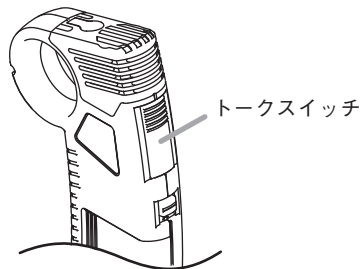
マイクのON/OFFを操作するためのトークスイッチの動作を選択することができます。

電池カバー内部のトークスイッチ動作選択スイッチ（ロック）でA/Bモードそれぞれのときの動作を設定します。

ご注意

トークスイッチ動作を設定するときは、マイクがOFFの状態で行ってください。

マイクがONのときに設定を変更しても、トークスイッチ動作は変わりません。

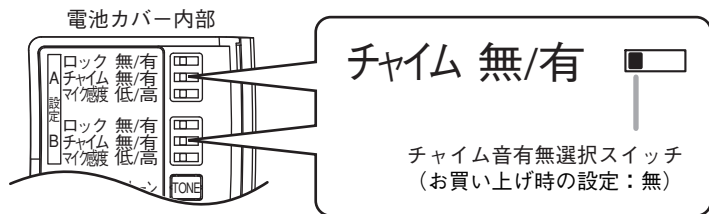


- ロック 無 プッシュロック機能なしに設定します。
・トークスイッチを押している間のみマイク ON、離すと OFF になります。
- ロック 有 プッシュロック機能ありに設定します。
・トークスイッチを 1 回押すとマイク ON、もう 1 回押すと OFF になります。

チャイム音有無の設定のしかた

マイクを ON にしたときにチャイム音を鳴らすかどうかを選択することができます。

電池カバー内部のチャイム音有無選択スイッチで A/B モードそれぞれのときの動作を設定します。



ご注意

チャイム音有無を設定するときは、マイクが OFF の状態で行ってください。

- チャイム 無 マイクを ON にしたときにチャイム音を鳴らしません。
- チャイム 有 マイクを ON にしたときにチャイム音を鳴らします。

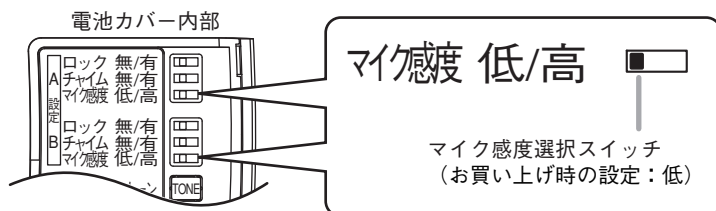
マイク感度の設定のしかた

使用形態に合わせて、マイク感度（外部マイクを含む）を選択することができます。

電池カバー内部のマイク感度選択スイッチでA/Bモードそれぞれのときの動作を設定します。

ご注意

マイク感度を設定するときは、マイクがOFFの状態で行ってください。マイクがONのときに設定を変更しても、マイク感度は変わりません。



マイク感度 低



マイク感度を低く設定します。

- ・マイクを口もとに近づけて（2～3 cm 程度）使用する場合、この設定にしてください。

マイク感度 高



マイク感度を高く設定します。

- ・マイクを胸ポケットに入れて使用するなど、口もとから離れて（15～20 cm 程度）使用する場合、この設定にしてください。

ご注意

マイクを必要以上に口もとに近づけ、大きな声で話すような使いかたはしないでください。音がにごって、聞き苦しくなります。

送信出力の設定のしかた

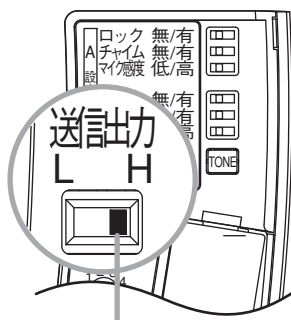
使用条件に合わせて、送信出力を切り換えることができます。

電池カバー内の送信出力切換スイッチで設定します。

ご注意

送信出力を設定するときは、マイクがOFFの状態で行ってください。

電池カバー内部



送信出力切換スイッチ
(お買い上げ時の設定：H)



送信出力を「H」に設定します。
・広い範囲（エリア）で使用する場合は、この設定にしてください。




送信出力を「L」に設定します。
・同じ場所で7波以上同時に使用する場合は、この設定にしてください。ただし、ワイヤレスチューナー側の設定も必要です。詳しくは、ワイヤレスチューナーの取扱説明書をお読みください。

外部マイクを使用するとき

外部マイクの接続のしかた

別売のマイク（YP-M101、YP-M201、YP-M301）を接続することができます。

カバーを外し、外部マイク入力端子にφ 3.5プラグを差し込むと、本体内蔵のマイクがOFFになり、外部マイクに切り換わります。

※ マイク感度を変更することができます。（ P. 13）

※ 別売のスイッチケーブル（YP-P101）と組み合わせて使用することもできます。スイッチケーブルを外部マイク入力端子に接続し、別売のマイクをスイッチケーブルに接続してください。



■ 外部マイク動作の設定のしかた

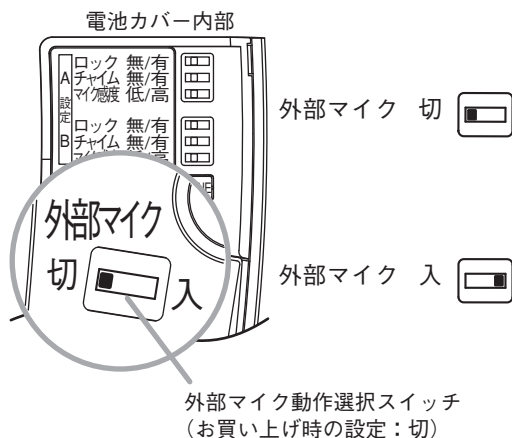
外部マイクとしてスイッチ付きのマイク（別売：YP-M201）を使用するか、または外部マイクにスイッチケーブル（別売：YP-P101）を接続し、外部マイク動作を設定することで、外部マイク側からもマイクのON/OFFができるようになります。

外部マイクの動作は、電池カバー内の外部マイク動作選択スイッチで設定します。

ご注意

外部マイク動作を設定するときは、マイクがOFFの状態で行ってください。

※ 外部マイクを使用しないときは、このスイッチを設定する必要はありません。



外部マイクの ON/OFF を本体のトークスイッチで行います。外部マイク側からの ON/OFF はできません。

・スイッチの付いていない外部マイクを使用するときは、この設定にしてください。

外部マイク側からの ON/OFF 操作が有効になります。

・スイッチ付きの外部マイクまたはスイッチケーブルを使用するときは、この設定にしてください。

・本体のトークスイッチでも ON/OFF できます。ただし、一方のスイッチが押されているときは、他方からは OFF できません。

ご注意

外部マイク動作を「入」に設定している場合、外部マイクを抜き差しするときにマイクが ON になることがあります。

外部マイクを抜き差しするときはバッテリーチェッカーでマイクの ON/OFF 状態を確認し、ON になったときは、本体のトークスイッチまたは外部マイク側のスイッチで OFF にしてください。

トーン切換スイッチ

このスイッチの設定を変えるときは、販売店にご相談ください。

■ 「トーン」のはたらき

ワイヤレスマイクの電源が入っていないときや、ワイヤレスマイクの電源は入っていても妨害電波が強いとき、妨害電波の音声や雑音が聞こえることがあります。

この対策として、ワイヤレスマイクの電波にトーン信号をのせて送信し、ワイヤレスチューナーではトーン信号の含まれていないワイヤレスマイクの電波は、音声を出力しないようにしています。

本機はこのトーン信号を3種類搭載しており、状況により切り換えることができます。

メモ

混信が非常に強い場合、トーン信号の周波数を変えても正常に使用できないことがあります。

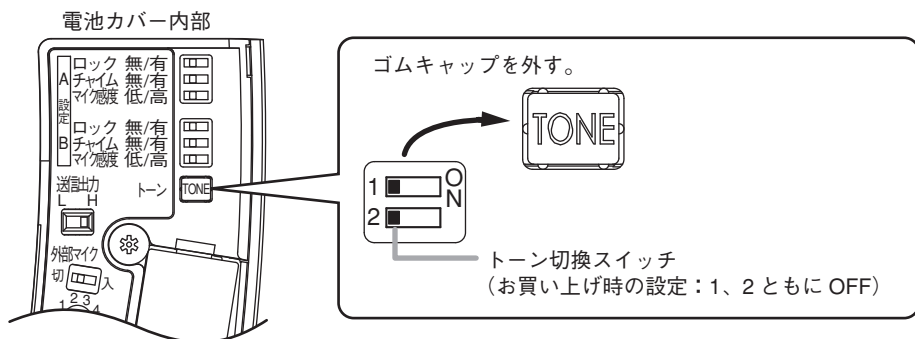
■ トーン切換スイッチの設定のしかた

ご注意

マイクがOFFの状態を設定してください。

マイクがONのときに設定を変更しても、トーン周波数は切り換わりません。

1 電池カバー内部のトーン切換スイッチ部に付いているゴムキャップを外す。



- 2** トーン信号の周波数を先の細いドライバーなどで設定する。
 トーン信号の周波数は、スイッチ位置により下表のように変化します。
 ワイヤレスチューナーのトーン信号の周波数も同じ設定に変更してください。

| スイッチ位置 | トーン信号周波数 |
|---|---|
| 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON (お買い上げ時の設定) | B1、B3 グループ：32.768 kHz B2、B4 グループ：32.718 kHz B5、B6 グループ：32.818 kHz |
| 1 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ON 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON | すべてのグループ：32.718 kHz |
| 1 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON 2 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ON | すべてのグループ：32.768 kHz |
| 1 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ON 2 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ON | すべてのグループ：32.818 kHz |

ご注意

- ワイヤレスチューナーは、ワイヤレスマイクとグループ番号、チャンネル番号、およびトーン信号の周波数がそれぞれ一致しないと正しく受信できません。
 - この機能は、トーン切換スイッチの付いているワイヤレスチューナーとの組み合わせでのみ使用できます。トーン切換スイッチの付いていないワイヤレスチューナーと組み合わせる場合は、スイッチ1、2ともに「OFF」の位置で使用してください。
- ※ チューナー側の機能および設定については、ワイヤレスチューナーまたはチューナーユニットの取扱説明書をお読みください。

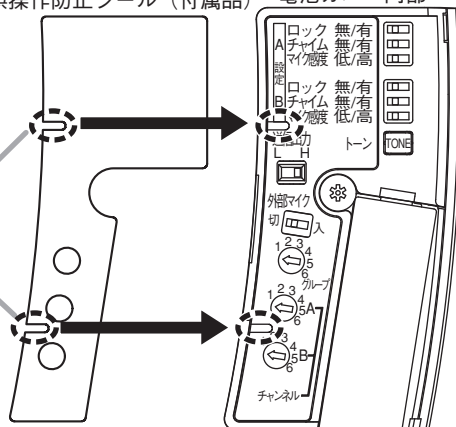
- 3** トーン切換スイッチ部に元どおりゴムキャップを取り付ける。

誤操作防止シールの使いかた

付属の誤操作防止シールを使用すると、グループ・チャンネルの設定スイッチ以外の設定部を触れないようにすることができます。各種設定が終わったら、必要に応じて電池カバー内部に誤操作防止シールを貼り付けてください。

切り欠きを電池カバー内部の突起部に合わせる。

誤操作防止シール (付属品) 電池カバー内部

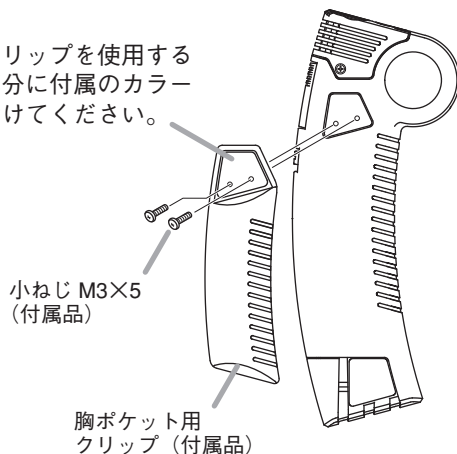


胸ポケット用クリップの使いかた

付属の胸ポケット用クリップを取り付け、胸ポケットに入れて使用することもできます。

■ 胸ポケット用クリップの取り付けかた







胸ポケット用クリップを使用するときは、この部分に付属のカラーマークを貼り付けてください。



■ 胸ポケットに入れて使用するとき

胸ポケットにクリップを差し込み、固定して使用します。
マイク感度の設定を「高」にして使用してください。(P. 13)

故障かな？と思ったら

| 症 状 | 確かめるところ | 対処のしかた |
|---|---|--|
| マイクを ON にしてもバッテリーチェッカー（緑色灯、赤色灯とも）が点灯しない。 | ● 乾電池を使用のとき 電池の極性は正しいですか？ 電池は消耗していませんか？ | 電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 |
| | ● 充電電池を使用のとき 専用の充電電池を使用していますか？ | 専用の充電電池を使用してください。 |
| | 電池の極性は正しいですか？ | 電池を正しく入れ直してください。 |
| | 充電済みの電池ですか？ | 専用充電器 BC-1420 で充電を行ってください。 |
| マイクを ON にするとバッテリーチェッカーの赤色灯が常時点灯する。 | ● 乾電池を使用のとき 電池が消耗していませんか？ | 新しい電池と交換してください。 |
| | ● 専用の充電電池を使用のとき 電池が放電していませんか？ | 専用充電器 BC-1420 で充電を行ってください。 |
| マイクを ON にするとバッテリーチェッカーの緑色灯と赤色灯が一瞬明るく点灯する。 | — | 正常動作です。 そのままお使いください。 ( P. 10) |
| マイクを ON にするとバッテリーチェッカーの緑色灯と赤色灯が交互に点灯する。 | 周波数表にないグループ、チャンネルに設定されていませんか？ | 「周波数表」を見て、グループ、チャンネルを設定し直してください。 ( P. 8、P. 9) |
| マイクを ON にしてもワイヤレスチューナーの受信表示灯が点灯しない。 (受信しない。) | ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは同じグループ、チャンネルに設定されていますか？ | ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーを同じグループ、チャンネルに設定し直してください。( P. 8、P. 9) |
| | ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは同じトーン信号周波数に設定されていますか？ | ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーを同じトーン信号周波数（トーン切替スイッチの位置を同じ）に設定し直してください。( P. 17) |
| 同時に使用している他のワイヤレスマイクと混信する。 | 他のワイヤレスマイクとグループは同じ番号に、チャンネルは異なる番号に設定されていますか？ | 「周波数表」を見て、グループ、チャンネルを設定し直してください。 ( P. 8、P. 9) |
| | ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの距離が近づき過ぎていませんか？ | ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの間隔は 50 cm 以上離して使用してください。 |
| | ワイヤレスマイクが受信アンテナに近づき過ぎていませんか？ | ワイヤレスマイクは受信アンテナから 3 m 以上（送信出力「L」設定時は 2 m 以上）* 離して使用してください。 |
| チャイムが鳴らないことがある。 | A/B 切替スイッチおよびチャイム音有無選択スイッチは正しく設定されていますか？ | 正しく設定してください。 ( P. 11、P. 12) |
| | マイクを OFF にした後、すぐ（1 秒以内）にマイクを ON にしていませんか？ | 正常動作です。 誤操作でひんぱんにチャイムが鳴ることを防ぐために、OFF にした後 1 秒間はマイクを ON にしても鳴らないようになっています。 |

* アンテナの設置場所や同軸ケーブルの長さにより異なります。

仕 様

| | |
|------------------------|---|
| 電 波 型 式 | F3E |
| 送 信 周 波 数 | 806.125 ~ 809.750 MHz (30 波のうち 1 波) |
| ト ー ン 周 波 数 | B1、B3 グループ：32.768 kHz B2、B4 グループ：32.718 kHz B5、B6 グループ：32.818 kHz |
| 発 振 方 式 | 水晶制御 PLL シンセサイザー方式 |
| 定 格 空 中 線 電 力 | 1 mW (L) / 3 mW (H) |
| 到 達 距 離 * 1 | 条件の良い屋外で約 60 m:1 mW (L)、条件の良い屋外で約 90 m:3 mW (H) |
| 変 調 感 度 | ± 4.8 kHz (マイク感度：低、1 kHz、96 dB SPL 入力時) |
| 最 大 入 力 音 圧 | 132 dB SPL (マイク感度：低) / 120 dB SPL (マイク感度：高)、 ± 38 kHz 偏移 |
| 外 部 マイク 入 力 | -45 dB * 2 (1 kHz、± 4.8 kHz 偏移) |
| 入 力 等 価 雑 音 | 41 dB SPL 以下 (A カーブ使用) |
| 使 用 マイク ロ ホ ン | 単一指向性エレクトレットコンデンサー型 |
| 周 波 数 特 性 | 200 Hz ~ 12 kHz |
| プ リ エ ン フ ァ シ ス | 50 μs |
| ア ン テ ナ | 内蔵式 |
| 使 用 電 池 | 専用充電電池 WB-2000、WB-1000A または単 3 形乾電池 (1 本) |
| 電 池 寿 命 (連 続 使 用) | 専用充電電池 (WB-2000) 使用時 : 約 18 時間 専用充電電池 (WB-1000A) 使用時 : 約 10 時間 アルカリ電池 (LR6) 使用時 : 約 24 時間 マンガン電池 (R6PU) 使用時 : 約 9 時間 |
| 機 能 | A/B 切換機能 (チャンネル、各機能切り換え可)、トークスイッチロック機能、 マイク感度切換機能、チャイム機能 (送信開始時に鳴動、有/無設定可)、 電池残量表示、外部マイク接続 (外部マイクスイッチからの ON/OFF 制御可) |
| 使 用 温 度 範 囲 | -10 ~ +50°C |
| 使 用 湿 度 範 囲 | 30% ~ 85%RH |
| 仕 上 げ | ABS 樹脂、黒 (マンセル N1.0 近似色)、塗装 |
| 寸 法 | 74 (幅) × 184 (高さ) × 20 (奥行) mm |
| 質 量 | 105 g (電池を除く) |

* 1 受信側 ATT 0 dB 時 * 2 0 dB = 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

| | | | |
|-----------------------------|---|-----------------------|---|
| 胸ポケット用クリップ | 1 | チャンネルシール | 1 |
| 胸ポケット用クリップ取付ねじ (M3 × 5) ... | 2 | 誤操作防止シール | 1 |
| ストラップ | 1 | 周波数設定用ドライバー | 1 |
| カラーマーク (6 色) | 1 | 単 3 形乾電池 (R6PU) | 1 |

| | | |
|----------------------|--|--|
| TOA お客様相談センター | フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。 | 商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。 |
|----------------------|--|--|

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-07-00022-01